

陸前高田市被災民俗資料の安定化処理と修復

— 高田人形、^ま的、陣笠について —

○武田昭子、松澤菜、豊田育菜、渡辺瑞希（昭和女子大学）、熊谷賢（陸前高田市立博物館）、赤沼英男、目時和哉（岩手県立博物館）

1. はじめに

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震が引き起こした巨大津波は東日本の太平洋沿岸一帯を襲い、多くの文化遺産が壊滅的被害を受けた。岩手県陸前高田市立博物館には14万5千点余の資料が収蔵・展示されていたが、津波によってその台帳や資料情報のほぼ全てが失われた。民俗資料は2万3千点余収蔵されていたが、現在救出された資料は約2万点である。実生活の中で使用された民俗資料は、地域の生活や文化を語る資料として、きわめて重要である。資料を構成する素材も木や土、紙、金属など多岐にわたり、安価に手に入れることができ、最小限の使用目的を満たすだけの特性を有する素材を使用していることが多い。今回修復対象とした資料は、いずれも陸前高田市の民俗文化を語る上で重要な資料とされている。海水損した民俗文化財の修復例に関する報告は少ない。紙、漆、土など様々な素材から構成され、当初の使用目的をほぼ達した後に民俗資料として保存されてきた資料についての安定化処理および修復はその場についての状況にある。以下に、安定化処理および修復作業について報告する。

高田人形

安定化処理・修復工程

- クリーニング
筆、ピンセット、メスなどの工具等を使用し、表面に付着していた砂や土、藻類等の除去を行った。藻類は、被災前の保管時に使っていた梱包材である。海苔に浸かったことで密着し、葉と柄が分離し、脱落する箇所があった。
- 脱塩・材質強化
高田人形は漆で仕上げられているため、極めて硬質であった。漆に浸漬する脱塩処理が不可欠なため、5%アクリル酸水溶液に浸漬し、溶液を換えながら脱塩処理と材質強化を同時に行った。資料の損傷状況によって、浸漬時間や浸漬回数を変えた。
- 接合
同一素材になる材料は、エポキシ樹脂接着剤を用いて接合を行った。接合した後、裏面の亀裂部分や欠損部分をパテ状のエポキシ樹脂を充填した。充填剤は、メスや彫刻刀等を用いて整った。
- 宮色仕上げ
パテ状のエポキシ樹脂で修補した箇所には、アクリル顔料の黒と日本漆の黒を用いて濃淡と違和感が無い程度に修補し、宮色仕上げをした。

的

安定化処理・修復工程

- 解体
本紙面に貼り付けられていた紙類などの紙片の隙間へうすを差し込み、裏打ち紙を本紙から取り外した。本紙裏面の切り込み部分へうすを差し込み、切り込みを閉じながら本紙と竹枠を分離し、展開した。
- クリーニング
本紙裏面のクリーニング 竹枠の脱脂処理 砂の除去
本紙裏面のクリーニング 竹枠の脱脂処理 砂の除去
- 糊塗・脱塩処理
竹枠の脱脂処理
本紙の脱塩処理
裏打ち紙の脱塩処理
裏打ち紙として用いられていた糊類の紙片を、水道水と精製水で洗浄し除去した後、水道水、精製水で濡らしたコンテナに浸漬し脱塩した。
- 本紙の糊塗
糊塗箇所の糊塗
糊塗箇所の糊塗
糊塗箇所の糊塗
- 竹枠の整形
竹枠を水道水に一晩浸した後、裏打ちした本紙の隙間がゆるむ大きさに合わせて調整を定めた。調整をこころした紙の上に竹枠を置き、固形と裏石を使用し調整を行った。
- 組み立て
水分を含ませた本紙の上に竹枠を置き、切り込み部分に化学糊を付けた竹枠の内側に貼り込んで糊付した。本紙裏面、裏打ち紙を本紙裏面に貼り付け、裏石を敷きつけて乾燥した。
- 糊塗
日本産水性糊と墨汁を使用し、表面に白い顔となって裏れた糊が乾くと本紙と裏打ち紙の両面に色を付けて糊塗した。糊塗は、本紙裏面と裏石のみにした。

陣笠

安定化処理・修復工程

- 脱塩・材質強化
脱塩処理により糊類・下地がもろくなったため、年数経の状態で水性のアクリル樹脂（ハイダー17）で材質強化を再行した。
- 糊塗箇所の糊塗
糊塗箇所の糊塗には、裏紙の15%の20%水溶液を使用した。糊塗箇所に筆で塗布するほど、フロンテープ、砂紙、裏紙の一枚一枚を押し、圧着させた。糊塗の乾燥は入浴時に①上塗り・下地 ②上塗り・下地 ③上塗り・下地 ④下地の乾燥に合わせた。①②③④の工程を繰り返す。乾燥にむくむく1時間程度の乾燥を行った。
- 裏紙の戻元
欠損箇所の上部裏紙や下地裏紙等に宮色しながら、水道水で欠損箇所の復元を行った。その後、復元部分に糊塗を塗り、半乾になるように乾かす。拭き取りで裏紙全体を仕上げた。

4. まとめ
現在修復対象資料の経過観察を進めているが異常はみられない。被災地には民俗資料が未処理の状態多数保管されている。今後も資料の状態に見合った安定化処理方法および修復方法を構築し、その再生に貢献していきたい。

2014 文化財保存修復学会 第36回大会（東京）にて発表したもの